

古代ロマンの多摩川台公園古墳を歩く写真集

こだま会歴史教室

実施日 2019年5月30日(木) 多摩川駅 10時集合

参加者 川田勝利、吉田綾子、友井眞言、主藤珠江、松本良子、一杉雄二、戸田晴美、小林久子、高橋和江、笈川和男、小島八重子、鳥居伸太郎 12名

写真の背景のこんもりしたところが長さ 107m の前方後円墳である亀甲山古墳。このほかに 1号墳から 8号墳、そして長さ 100m 級の宝萊山古墳(4世紀前半)まで 10基の古墳が連なっています。畿内の前方後円墳と同じ形式であることから、この地域が 4世紀前半から大和政権に臣従していたと考えられています。亀甲山古墳は発掘調査が行われていないので正確な築造年代は不明です。

多摩川の岸边から立ち上がったこんもりした丘が古墳であることは最近知りました。こんな身近に長さ 100m を超える前方後円墳があったということに大変興味がわきました。そばに田園調布の高級住宅があり、緩やかに蛇行する多摩川が眼下に流れ、丘に建てば富士山が指呼の間に見ることができます。古代日本人もここが大変暮らしやすい場所であるということでこの付近に集落を築いたのではないかと思います。当時の人たちがどんな暮らしをしていたのかを想像しながら古墳巡りを楽しみました。 薫風や古墳の丘に遠望す 眞言



宝萊山前方後円墳

1934年(昭和9年)の宅地造成で、後円部の三分の二が掘削されてしまいました。今でも古墳のすぐ隣に住宅が建っています。長さは97.5mです。掘削されたときに国産の四獣鏡、勾玉、ガラス製小玉、首飾りなど出土しました。出土した土器などから4世紀前半の関東地方でも最古の前方後円墳と考えられています。

皆さん熱心に勉強しています。



後ろの丘が宝萊山古墳です。



古墳展示室



当時の服装などを再現



古墳の玄室を再現している



鉄製の剣や土器



細かい細工が施された鉄製品



古墳時代人になったつもりでもの想う.....



鳥居家の近くの水路の亀。甲羅干しで重なっている



すぐ下は多摩川。遠景のビルは二子玉川のビル群



ずうずうしくも鳥居さんの家に押しかけ、コーヒーやお菓子、はたまたビールまでごちそうになりました。門に故金子兜太さんの「安倍政治を許さない」が貼ってあります。奥さん突然でしたが、歓待していただきありがとうございました。